

# 地域コミュニティの強化

## 千年希望の丘 MILLENNIUM HOPE HILLS



### さまざまな支援に感謝

震災から6年、岩沼市は、各方面からさまざまな支援を受けた。

震災当日から陸上自衛隊による救出活動が、翌日には日赤ドクター派遣チームによる活動が開始され、同日、宮城県内では最も早く災害ボランティアセンターが開設された。ボランティアの受付数は平成25年末で2万6898人を数えた。

全国の自治体からも平成28年度までに176人の職員が派遣され、岩沼市のさまざまな業務にあたっている。山本主事もその一人である。

津波による被害ばかりがクローズ

アップされているが、津波が到達しなかつた内陸部でも、地震の被害は大きかった。

岩沼市を取材のために訪れた際に宿泊したホテルの経営者は、「棚から物が落ちて、部屋はめちゃくちゃになってしまった。飲料水もなく、電気も点かない日が続いて、とても怖かったことを覚えています。しばらく営業はできないと思つていましたが、ボランティアの方たちからの

感謝の言葉で、宿泊施設としての営業を1週間後に開始しました。ボランティアの皆さんには感謝してもしきれないほどです。」と、感謝の気持ちを話してくれた。

### 地域コミュニティの強化に向けて

羽村市の地域コミュニティは、町内会・自治会の皆さんによって支えられている。しかし、町内会・自治会への加入率は年々減少し、近所づき合いの希薄さなどが大きな課題となっている。

そのような中で、市は、羽村市町内会連合会と連携し、町内会・自治会への加入率の向上、地域コミュニティの強化を目指してさまざまな施策に取り組んでいる。

また、岩沼市は、被災当事者であるにもかかわらず、震災発生の翌日には、隣町の亘理町から約400人の避難者を受け入れている。岩沼市の復興に向けて共に支え合つていこうとする「共助」の精神こそが地域コミュニティそのものであり、人の力ではどうすることもできない自然災害に対する「減災」に向けての大きな力になつたのではないだろうか。

復興に向けた取組みを続ける岩沼市の皆さんには、多くの皆さんから受けた支援への感謝の気持ちをいつまでも忘れない。それは、岩沼市と支援してくれた皆さんとの間に新たなコミュニティが生まれているからかもしれない。

でも忘れない。それは、岩沼市と支援してくれた皆さんとの間に新たなコミュニティが生まれているからかもしれない。

災害に備えて組織されている自主防災組織も、また、各町内会・自治会を中心に組織されている。いざ災害が発生した時に、本格的な対策（公助）が打ち出されるまでには5日から7日を要するとされてい。その間、自らの備えで生活（自助）し、そして、地域の皆さんで助け合つて（共助）いかなければならぬのである。

いつ発生するかわからない自然災害は、防ぎようがないと言われている。しかし、自然災害が発生してしまった時のために、日ごろの備えや訓練などの「防災」は必要であり、発生してしまった自然災害をいかに最小限に留めるのかという「減災」への取組みもまた、重要である。

この「防災」「減災」への取り組みは、地域コミュニティなくしては成立しないのである。

近い将来高い確率で発生するとされている自然災害に備える「防災」のために、また、発生してしまった後の「減災」のためにも、もう一度地域コミュニティについて考えてみてはどうだろうか。

## 「防災」と「減災」のための 地域コミュニティ

# 環境フェスティバル事業者展

## 出展者募集

第6回

### 羽村市環境フェスティバル

期 日 6月3日(土)

会 場 ゆとりぎ・産業福祉センター・ゆ

とろぎ前道路・図書館

環境に配慮した商品または自社の環境配慮活動をPRしませんか。環境配慮製品の販売や簡単な催し物もできます。

出展資格 環境配慮製品の販売、自社の環境配慮活動をPRする事業者

募集区画 10区画(1区画8.1m×2.7m程度)

※先着順で受け付けます。

出展料 7000円(机・イス・テント・電源含む)

※1事業者2区画までです。

申込方法 3月15日(水)～31日(金)(必着)(土・日曜日、



▲昨年の様子

祝日を除く)の午前8時30分から午後5時までに、出展者要項を確認の上、申込書に必要事項を記入し出展料・提出書類を添えて直接申込先へ

ロードすることができます。  
※出展者要項・申込書は、市公式サイトからダウン

ロードすることができます。

申込先・問合せ 第6回羽村市環境フェスティバル

実行委員会事務局(環境保全課環境保全係)(内)226

〒205-8601(所在地記載不要)

✉ s205000@city.hamura.tokyo.jp

北杜市のメガソーラー見学とオオムラサキセンターの自然の中で遊ぼう!

みどりの環境教室では、市内では体験することのできない環境学習をします。自然の大切さについて

学習しましょう。

日 時 3月28日(火)午前8時30分～午後5時(予定)

コース 羽村市役所(集合)→北杜市オオムラサキ

電所見学(メガソーラー)→北杜市オオムラサキセンター、昼食と自然体験→羽村市役所(解散)

定 員 20人程度(先着順)

※小学校4年生以下の子どもさんは保護者の同伴が必要です。

参加費(1人) 1500円(施設見学・交通費込み)

※参加費は当日集金します。

※保護者同伴の小学校4年生以下の子どもさんは1人500円です。

持ち物 昼食・飲み物・筆記用具

申込み・問合せ 3月1日(水)～17日(金)に「住所・氏名・年齢・電話番号」を、電話・ファクス・Eメールまたは直接環境保全課環境保全係(内)226へFAX554-1292-1✉ s205000@city.hamura.tokyo.jp

※Eメールの場合、件名に「環境教室参加希望」と

入力してください。

※電話または直接の場合の受付時間は、土・日曜日を除く午前8時30分～午後5時です。

※電話または直接の場合の受付時間は、土・日曜日を除く午前8時30分～午後5時です。



※直接会場へお越しください。  
※駐車場に限りがあります。車での来場はなるべく遠慮ください。

会 場 ゆとろぎ大ホール

内 容 交通事故関連ビデオの放映、福生警察署員による講義など

## 運転者交通安全講習会

※直接会場へお越しください。  
※駐車場に限りがあります。車での来場はなるべく遠慮ください。

日 時 3月15日(水)午後7時～8時(受付け午後6時30分～)

問合せ 防災安全課防犯・交通安全係(内)216

## みどりの環境教室 in北杜市